

Y27b

Flamsteed「天球圖譜」と「Histria Coelestis Britannica」の相違点

藤原 智子 (DANOF Observatoire de Paris、京産大理)

恒星社厚生閣発行のフラムスチード「天球圖譜」は現在日本で広く普及し、多く使われている。

私は古い恒星表を用いて超長周期変光星の研究をしているが（詳しくは同分科会「文献比較から得られた超長周期変光星候補天体とその特性」参照）使った恒星表の中で特に「天球圖譜」は、星の掲載数が顕著に少なく（386個）、しかも同じ星が複数個あったり、現在使われていない星座（アントニウス座）があったりして、資料として非常に使い難い。

パリ天文台の図書館にあり、「天球圖譜」のオリジナル版と言われる「Histria Coelestis Britannica」（1725年）の Tome 3 に付いている恒星表には、「天球圖譜」をはるかにしのぐ数の星がリストアップされており、星座には現存しないヘリウスの星座も含まれている。

これら2つの恒星表に掲載されている各星を比較すると、同じ星の筈なのに等級がかなり大きく違っていたり、「Histria Coelestis Britannica」に掲載されていないのに「天球圖譜」に掲載されている星があったりして、かなり問題がある事が分かった。今回はこの2つの恒星表の主な不一致点 および「Histria Coelestis Britannica」から「天球圖譜」を作成する際に削られた星についてポスターで発表する。